

ユニバーサルデザイン ワークショップ 「だれでもつかえる体育館・公園」

日時： 令和7年11月08日(土) 13:30~15:30
会場： 生涯学習センター 4階 第1研修室
参加者： 23名(うち障がい者6名)
講師： 高橋儀平(東洋大学名誉教授)
仙田満(東京工業大学名誉教授)
スタッフ：20名(うち秋田県立大学生5名)



INPUT ミニレクチャー

- 13:30-13:35 注意事項の説明
- 13:35-13:50 参加者自己紹介
講師・スタッフ紹介
- 13:50-14:10 計画の説明(仙田満 先生)
- 14:10-14:25 ミニレクチャー(高橋儀平 先生)
ユニバーサルデザインとは



ユニバーサルデザインについてのミニレクチャー

OUTPUT1 みんなで建物をめぐる

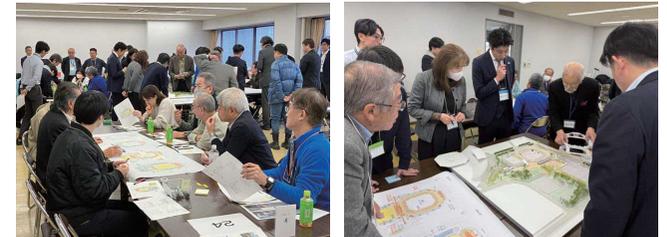
- 14:30-14:55 施設1階見学
各グループでは、参加者と一緒にスロープ、トイレ、エレベーターなどを見て回り、そこで感じたことや気づいた点を共有しました。特に、障がいのある方ならではの自身の体験や視点を話していただきました。これらの内容は、このあと行うディスカッションの議題として展開しました。



館内をめぐる障がいがある方ならではの意見をうかがう

OUTPUT2 ディスカッション

- 15:00-15:25 ディスカッション
先ほどの見学をふまえて、実際の体験を思い出しながら模型や図面を見て、「新しい県立体育館や丘にどのようなものがほしいか」「日常生活で利用する施設をどのように改善できるか」などの意見を出し合いました。ファシリテーターがみんなの意見をふせんに書いて図面に貼り、グループ内のみんなで共有しました。



テーブルを囲みアクセシビリティや観戦環境について意見を交わす

OUTPUT3 発表

- 15:25-15:40 各グループの発表会
グループを代表してファシリテーターが参加者の意見をまとめて発表しました。
- 15:40-15:45 まとめ
高橋先生より、4グループからの意見をまとめて内容を共有しました。



グループの意見をファシリテーターがまとめて発表する